

ケモミミ双子メイドの安眠寝かしつけご奉仕

ケモミミ双子メイドの安眠寝かしつけご奉仕

トラック3 カウンタダウンでお休み

ハズミ 身体中、暖かい空気で満たされている

ハズキ 暖かくて、暖かくて、まるで日向ぼっこしてるみたい

ハズミ 縁側にお布団敷いて寝転がって。私達と手を繋いで、

ハズキ 私達と息を重ねて、気持ち良く転がっている

ハズミ 鳥が飛ぶ

ハズキ しゅーしゅーと虫が鳴く

ハズミ 太陽がポカポカと照りつける。その全てが心地いい。

ハズキ 風が吹く。風に乗って鳥が飛ぶ。

ハズミ 鳥は広大な空を駆け巡り、やがて私達の元へと降り立つ。

ハズキ 遠くで見たときは分からなかったけど、とっても大きな鳥。乗っていいよといっているようです。背中に乗せてもらいましょう。

ハズミ 鳥は私達を背中に乗せて、また飛び立つ

ハズキ そのまま身を任せて大丈夫ですよ

ハズミ ふわふわの羽毛が布団みたい

ハズキ 風に乗って鳥が高く飛ぶ。どこまでも高く、高く飛ぶ

ハズミ 上へ、上へ。どんどん高く、飛んでいく。

ハズキ 高く飛んだ先には雲の上。雲の上はどこまでも続く青い空。

ハズミ 青い空の、その更に上には、宇宙が広がっている。私たちが手を繋いで寝転がって
この宇宙を宇宙は見ている

ハズキ 黒い夜に星が輝く。

ハズミ 星が巡る

ハズキ 赤く輝くあの星をじっと見つめてください。

ハズミ 宇宙は息を吹き込む

ハズキ 宇宙の吐息は銀河の海を越えて、雲を通して、やがて私達の元に届く。宇宙の暖かい吐息を全身で感じる。

ハズミ もう一度宇宙が息を吹き込む

ハズキ 宇宙の吐息は風となり、星をめぐり、暖かい大気になり、私たちを頬を優しく撫でる。たくさんの星を乗せた暖かい風。

ハズミ 宇宙の風に乗って、少しずつ地上へと降りていきます

ハズキ 今から100から0へと数えていきます

ハズキ カウントダウンに合わせて、地上へとゆっくり降りていきます

ハズキ やあ…おきあめ

100' 99' 98' 97' 96' 95' 94' 93' 92' 91' 90

ハズミ トンネル、トンネル、トンネル…おきあめ、おきあめ、トンネル…

ハズミ 89' 88' 87' 86' 85' 84' 83' 82' 81' 80

ハズキ ゆっくり、ゆっくり、ゆっくり落ちていきます…おきあめ…おきあめ

ハズキ 79' 78' 77' 76' 75' 74' 73' 72' 71' 70

ハズミ 落ちていぬ。落ちていぬ。落ちていぬ。落ちていぬ。落ちていぬ。

ハズミ 69' 68' 67' 66' 65' 64' 63' 62' 61' 60

ハズキ 落ちたところのはな地が良い。風と共にふたふた、ふたふた、落ちていきます。それがとうとうおきあめ。

ハズキ 59'58'57'56'55'54'53'52'51'50
ハズミ 鳥の羽がまるでひだまりのお布団みたいに暖かい。

ハズキ 49'48'47'46'45'44'43'42'41'40...

ハズミ 風が吹く、星が囁く。その全に宇宙を感じている。それらすべてで宇宙なんだと。

ハズキ 39'38'37'36'35'34'33'32'31'30

ハズミ 私たちは一つに溶け合っていく...溶け合っていくのは心地が良い。ひとつになるのは気持ちがいい

ハズミ 29'28'27'26'25'24'23'22'21'20

ハズキ 身体が、頭が、耳が、宇宙に溶けていく。溶けていくのは心地がいい...

ハズキ 19'18'17'16'15'14'13'12'11'10

ハズミ 地上へ近づいてきました。私達のおうちが見えます。少し古びた赤い屋根のおうち。

3

ハズミ 9'8'7'6'5'4'3'2'1

ハズキ 宇宙から、地上に降り立つ。そうして私達はまたやってきた。落ちる。落ちる。落ちる。落ちる。

ハズミ・ハズキ ゼロ

ハズミ おうちにかえってきました。

ハズキ 縁側に敷いたお布団の上にぼすん

ハズミ ふわふわのお布団が体を包み込む。とっても気持ちがいいね

ハズキ ふかふか、ふわふわ。気持ちがいい。

ハズミ 風が吹く

ハズキ 風が頬をなでる

ハズミ その全てが心地いい

ハズキ その全てに宇宙を感じる

ハズミ 宇宙は一つなんだ

ハズキ 満たされることは気持ちがいい

ハズミ 気持ちがいい

ハズキ 気持ちがいい

ハズミ 気持ちのいい、夢の続きを探しにいきましょう

ハズキ 次はどこへ行きましょうか

ハズミ 私たちはずっとついて行きます。ずっと一緒にです。

ハズキ その前も、その後のこれからも。共にいきましょう。でも今は……おやすみなさい
ハズミ お休みなさい